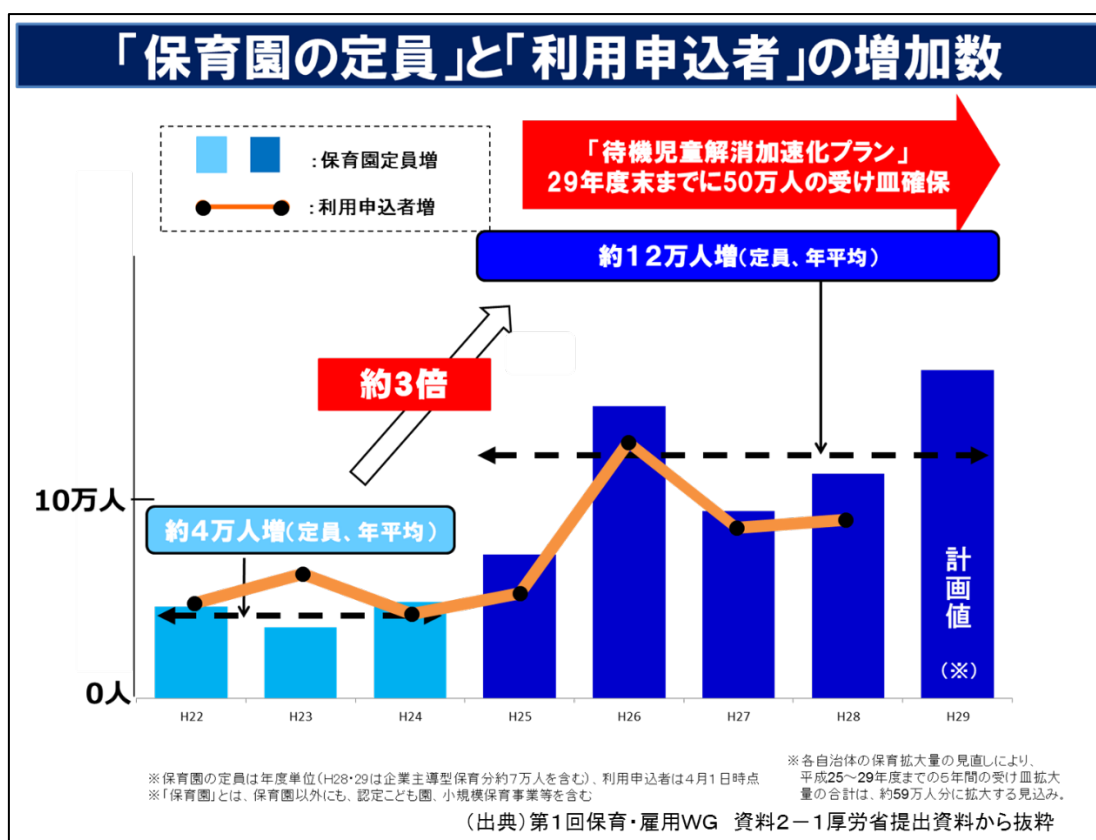


保育の現状

1. 保育の受け皿の整備状況（概観）

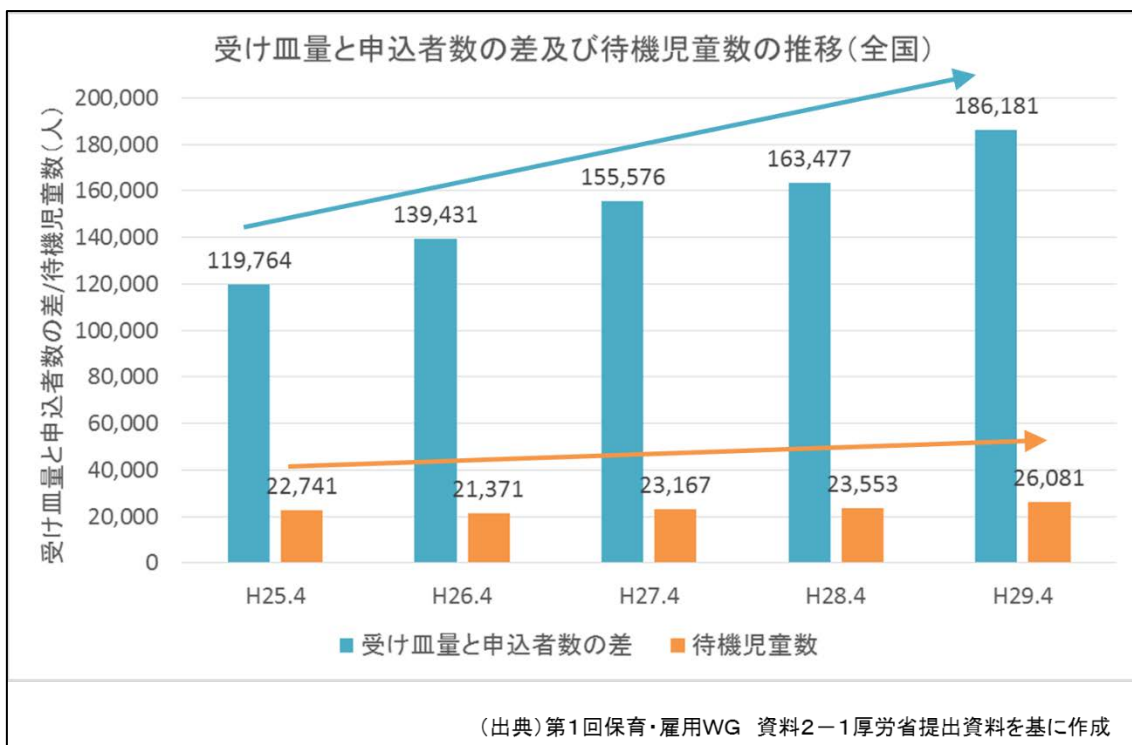
第二次安倍内閣以前（～平成 24 年 12 月）は、保育の受け皿を約 4 万人/年のペースで増やしてきたが、第二次安倍内閣以降（平成 24 年 12 月～）は、約 12 万人/年と約 3 倍のペースでこれまで整備してきた。



平成 29 年 6 月に発表された「子育て安心プラン」では、平成 30 年度～34 年度の間で約 32 万人分の受け皿を増やすとされている。平成 29 年 10 月 27 日に開催された第 2 回人生 100 年時代構想会議の場で、本プランを「前倒しをし、2020 年度までに 32 万人分の受皿整備を進めてまいります。」と総理がご発言。

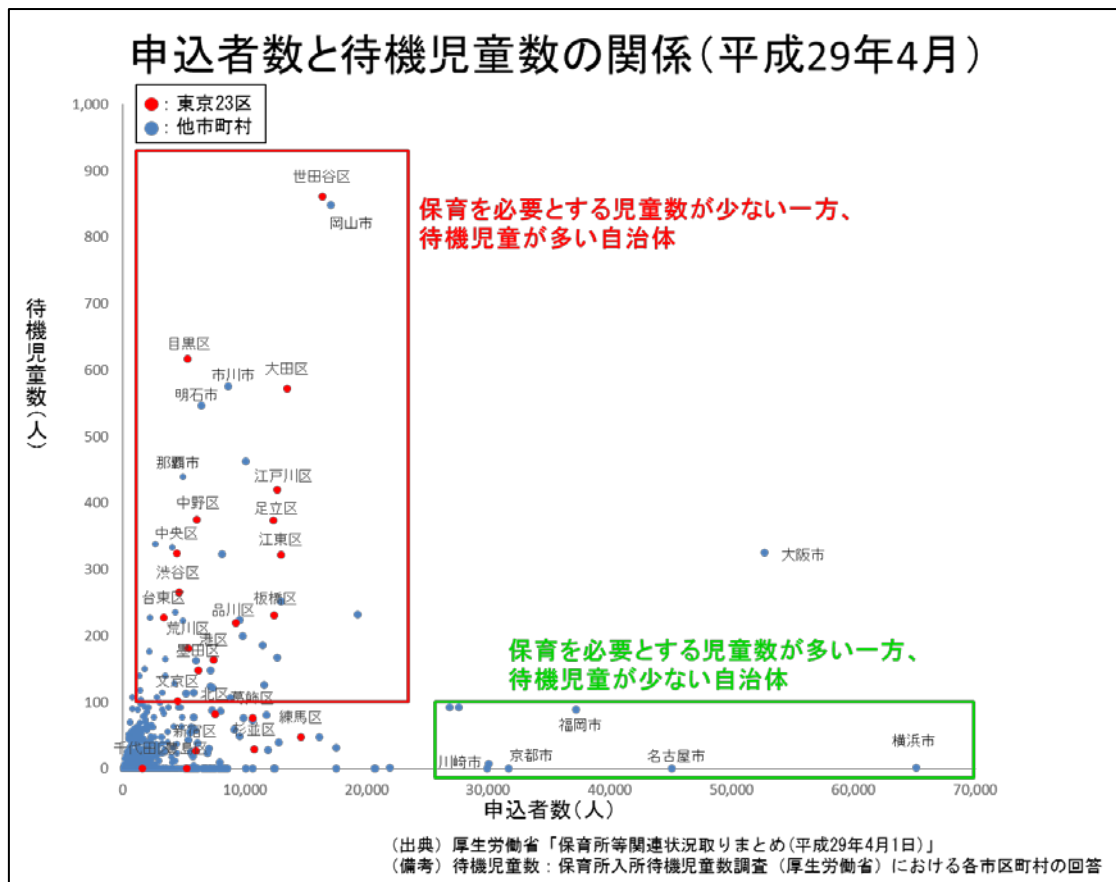
2. 保育の受け皿の整備状況（詳細）

全国レベルでは、保育の受け皿量と申込者数の差も拡大しているにも関わらず、依然として待機児童数は増加している。整備されたすべての受け皿が活用されているわけではないことから、都道府県、市区町村の地域的なレベルでより詳細に状況をみる必要がある。



3. 申込者数と待機児童数の関係

東京 23 区、政令指定都市、中核都市の申込者数と待機児童数の関係を見てみると、申込者数が多くても対策を講じることで待機児童を解消している自治体（緑色枠）が現に存在する。そのため、待機児童が多い自治体（赤色枠）については徹底した取り組みが重要。



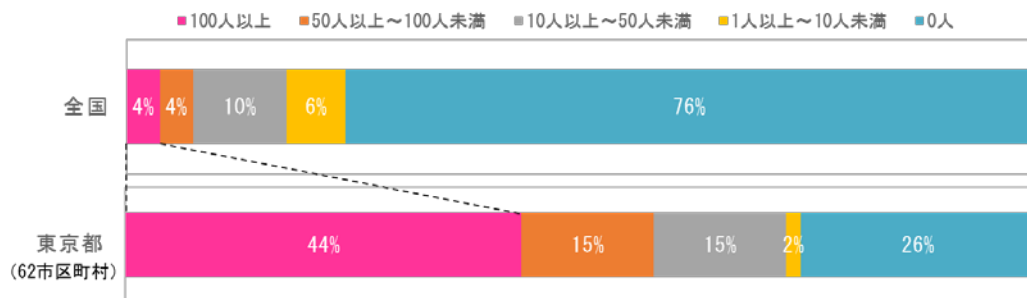
4. 待機児童が多い自治体の状況

待機児童の多い東京 23 区と全国を比較すると、待機児童が 100 人以上いる市区町村が占める割合は、全国が 4 %であるのに対し、東京都では 44%を占めている。

待機児童数別・自治体数の度数分布

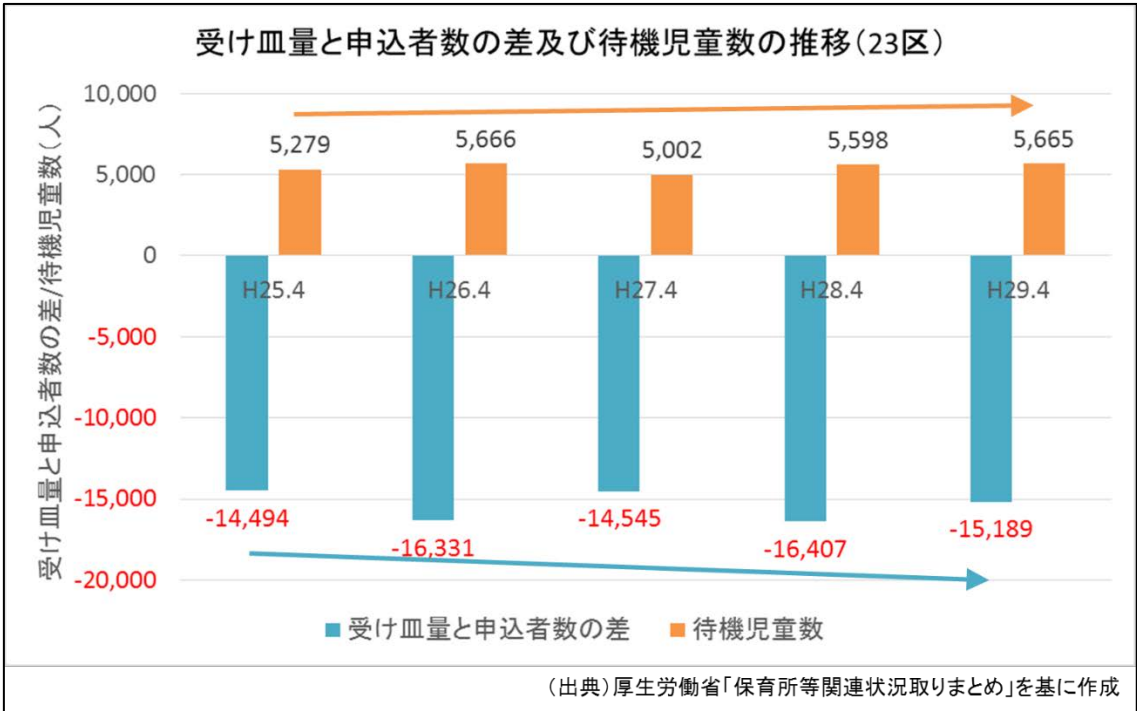
待機児童数	全国	うち東京都
100人以上	64	27
50人以上～100人未満	64	9
10人以上～50人未満	179	9
1人以上～10人未満	113	1
0人	1,321	16
合計	1,741	62
カッコ内の数字は待機児童数（人）	(26,081)	(8,586)

待機児童数別自治体の構成比



(出典) 厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ(平成29年4月1日)」

東京 23 区では、保育の受け皿の整備状況をみると、申込者数が保育の受け皿量を圧倒的に上回り続けているため、待機児童数も増加している。



東京 23 区では、認可保育所の設置基準等（設置面積基準、人員配置基準、認可保育所の整備における事業者の参入規制等）について、国の基準に上乗せした都の基準に、更に独自で上乗せしている区がある。基準の上乗せをしている区に待機児童すなわち「保育が必要と認められる児童」が多くみられる（赤字は待機児童数 500 人以上、橙色字は待機児童数 100 人以上）傾向がある。

上乗せ基準と待機児童数の関係	
上乗せ基準の該当数	区
3	世田谷区、目黒区、中央区、板橋区、豊島区
2	大田区、中野区、足立区、江東区、渋谷区、墨田区
1	品川区、文京区、北区、葛飾区、練馬区、新宿区
0	江戸川区、台東区、荒川区、港区、杉並区、千代田区
【上乗せ基準】 ・設備面積基準(0歳児)、人員配置基準(1歳児)、認可保育所の整備・運営を担う事業者の募集等に係る状況(特定の主体の優先順位を下げる等の主体制限) ・(出典)厚生労働省「保育所の整備及び運営に関する基準の条例制定状況及び運用状況等について(平成27年12月現在)」	
【待機児童数】 ・赤字は待機児童数が500人以上の区、橙色字は待機児童数が100人以上の区 ・(出典)東京都「都内の保育サービスの状況について(平成29年4月1日現在)」	

参考資料

政令指定都市および東京 23 区（合計）の面積一覧

順位	政令指定都市・東京 23 区	面積値 (km ²)
1	浜松市	1558
2	静岡市	1412
3	札幌市	1121
4	広島市	907
5	京都市	828
6	岡山市	790
7	仙台市	786
8	新潟市	726
9	東京 23 区（合計）	619
10	神戸市	557
11	北九州市	492
12	横浜市	438
13	熊本市	390
14	福岡市	343
15	相模原市	329
16	名古屋市	326
17	千葉市	272
18	大阪市	225
19	さいたま市	217
20	堺市	150
21	川崎市	143

[備考]

全国市区町村の平均面積：217km²

中核市の平均面積：422km²

東京 23 区の平均面積：27km²

出典：国土地理院「平成 28 年全国都道府県市区町村別面積調」